

地球環境問題を考える時、むずかしい顔をしていませんか？眉間にしわを寄せていませんか？地球環境問題の根っこは、人と自然の関わりの中にあります。人の暮らしを無視しては、解決には結びつきません。暮らしを良くしながら、自然と折り合いをつける、そんなおいしいとこ取りの研究を紹介します。

要事前申し込み

料金：500円  
(1ドリンク料金)

ナレッジキャピタル超学校

地球研

×

ナレッジキャピタル

# おいしい地球環境学

会場：CAFE Lab.  
グランフロント大阪北館  
ナレッジキャピタル1F

第1回 田中樹 地球研 客員教授

11月24日(金)

タンザニアでスパイスの村をつくらう  
— 貧困問題と環境荒廃に向き合う知恵 —

第2回 水野広佑 地球研 教授

12月5日(火)

荒廃泥炭地の回復にむけた挑戦

第3回 小林舞 地球研 プロジェクト研究員

12月12日(火)

おいしい食の未来のカタチ  
— ブータンの有機農業政策の失敗(?) から考えてみよう —



## 第1回 11月24日(金) タンザニアでスパイスの村をつくろう — 貧困問題と環境荒廃に向き合う知恵 —

タンザニア東部のウルグル山域は、過疎化の進む貧困地域です。急峻な地形での焼畑耕作が土壌の劣化や森林の消失を招いています。これは、典型的な「貧困と環境破壊の連鎖」です。本講座では、ウルグル山域の自然環境や在来農耕の知恵を活かし、バナナやクローブなどの香辛料作物の栽培を通じて「人びとの暮らしの向上と資源・生態環境の保全や修復を可能にする」取り組みを紹介します。また、タンザニアと日本の私たちをどうつなげるかを一緒に考えてみましょう。



田中 樹 総合地球環境学研究所 客員教授

ベトナム・フエ大学名誉教授。専門は、環境農学、地域開発論、土壌学。アフリカやアジアの半乾燥熱帯や湿潤熱帯での生業（なりわい）、風土、在来知、貧困、地域開発支援、資源・生態環境の保全など多岐にわたるフィールド研究に取り組んでいる。

## 第2回 12月5日(火) 荒廃泥炭地の回復にむけた挑戦

かつて、東南アジアに広く存在した熱帯泥炭湿地林は、1990年代以降、大規模に排水されてアカシアやアブラヤシが植栽されてきました。排水によって乾燥した泥炭地は、火災が生じやすく、煙害による健康被害や地球温暖化をもたらしています。私たちは、住民との間の徹底した討論や意見交換から、その解決方法を考え実践してきました。それは、地域の人々と一緒に乾燥した泥炭を湿地化し、そこで営む農林業（バルディカルチャー）を推し進める取り組みです。本講座では、湿地で栽培できるサゴヤシからとったデンプンもご覧いただけます。



水野 広佑 総合地球環境学研究所 教授 / 京都大学東南アジア地域研究研究所 教授

インドネシア、特に西ジャワの農村経済の歴史的变化を、土地、資本、労働の分析を通じて研究。インドネシアの民主化以降は、住民組織による資源管理、制度変化と経済発展を研究。2008年よりスマトラ・リアウにおける泥炭社会に関する文理融合研究のリーダーとなり、泥炭復興の実践研究とその歴史的社会的研究を続けている。

## 第3回 12月12日(火) おいしい食の未来のカタチ — ブータンの有機農業政策の失敗(?)から考えてみよう —

私たちの食べ物はどこで、だれによって、どのようにつくられているのでしょうか？近年日本でも、オーガニックや有機野菜への関心が高まっていますが、その全容を知ることはむずかしいものです。健康的で地域文化に相応しく、環境に配慮し持続可能な方法で生産された食べものの確保を目的に、ブータンでは2007年より有機農業政策が作られました。その経験と農民の対応を踏まえ、私たちが望む「おいしい食の未来」について一緒に考えてみましょう。



小林 舞 総合地球環境学研究所 プロジェクト研究員

米国スミス大学卒業後、カリフォルニア州や中米のニカラグアで働く。京都大学地球環境学舎にて修士・博士課程修了。2016年より現職。「持続可能な食の消費と生産を実現するライフワールドの構築—食農体系の転換に向けて」プロジェクトの研究員。小規模農業と食文化の転換を主に日本とブータンをフィールドとして調査研究を続けている。

時間 各回 19:00~20:30 開場 18:30

料金 500円 (1ドリンク料金)

会場 グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル1F  
CAFE Lab. 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪内

### お申し込み

ホームページよりお申し込み下さい

<http://kc-i.jp/>

先着順・各回定員50名

※お電話でのお申し込みはできません。



### お問い合わせ

一般社団法人ナレッジキャピタル

TEL: 06-6372-6530

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

総合地球環境学研究所 広報室

TEL: 075-707-2128